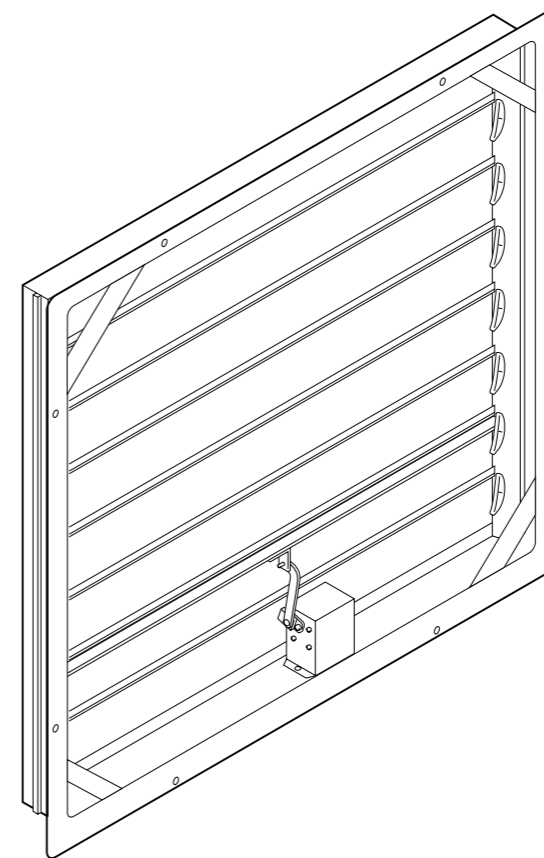


品番  
 <壁取り付け用>  
 NK-NEA10  
 NK-NEA80



### もくじ

安全上のご注意	2~3
各部の名前と寸法	4
据え付け場所の選定	4
設置上のお願い	4
取り付け前の準備	5
取り付け	5
電気工事	5~6
試運転	6
使い方	6~7
仕様	7
お手入れのしかた/こんなときには	7~裏表紙
保証/アフターサービス	裏表紙

### この説明書は必ずお客様にお渡しください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2~3ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書を大切に保管してください。
- この取扱説明書は最終需要者様まで確実にお渡しください。

この取扱説明書に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

お客様へ

## 保証/アフターサービス

■ 電動シャッターの保証期間は納入の日から1年といたします。保証期間中正常な使用にもかかわらず、当社の設計、加工などの不備により故障または異常が発生した場合は、故障または異常の部位を無償で修理いたします。ただし、客先での改造、仕様変更、保管中の破損、故障または異常に起因する各種損害などについてはその責を負いません。なお、電動シャッターは換気用に設計しております。使用状況および用途が異なる場合は、保証できない場合がありますのでご注意ください。

下記の事項に係る修理は無償修理の対象から除きます。

1. 換気目的以外で使用した場合の不具合
2. お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. 当社が定める工事説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 塩害地域、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
5. ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
6. 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または戦争・暴動などの破壊行為による不具合
7. 消耗部品の消耗に起因する不具合
8. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

■ 補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、この本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後、6年保有します。

■ アフターサービスなどについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店または下記までご相談ください。

パナソニック環境エンジニアリング株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 パナソニック エコシステムズ内 TEL0568-81-1162

<b>愛情点検</b>	<b>長年ご使用の電動シャッターの点検を！</b>	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転中に異常音が生じたり振動がある。</li> <li>・異臭がする。</li> <li>・その他、異常を感じる。</li> </ul>	<p>▶ <b>ご使用中止</b></p> <p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。</p>

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2011

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
 ■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。  
 (次は図記号の例です)

してはいいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

**警告**

■ 仕様変更、改造、分解は絶対にしない

火災・感電・けがの原因となります。

分解禁止

● 修理は販売店へご連絡ください。

■ 雨や水のかかる場所には取り付けない

ショート・漏電・感電のおそれがあります。

水場使用禁止

■ 可動部へ指や物などを入れない

けがをするおそれがあります。

接触禁止

■ 換気目的以外では使用しない

予期せぬ事故の原因になります。

禁止

■ スイッチや分電盤のブレーカーをぬれ手で切/入しない

感電のおそれがあります。

禁止

■ ギヤモーターには水をかけない

ショート・漏電・感電のおそれがあります。

禁止

■ 配線工事は電気設備技術基準、内線規程及び工事説明に従う

あやまった配線工事は漏電・感電・火災のおそれがあります。

■ 製品は指定の方法で確実に取り付ける

予期せぬ事故の原因になります。

■ 手動操作するときは分電盤のブレーカーを切る

感電やけがをするおそれがあります。

■ 漏電ブレーカーを必ず取り付け

漏電・感電のおそれがあります。

■ D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース線接続

■ 据え付け、配線工事は専門業者に依頼する

接続が不完全な場合は発熱し火災の原因となります。

● 特に電気工事は法律により免許のない者の工事は禁止されています。

お客様へ

## 仕様

品番	電源	周波数 (Hz)	電流 (A)	消費電力 (W)	シャッターブレード枚数(枚)	質量 (kg)
NK-NEA10	単相 200V	50	0.55	49	8	15
		60	0.40	39		
NK-NEA80		50	0.55	49	7	12.5
		60	0.40	39		

お客様へ

## お手入れのしかた/こんなときには・・・

### お手入れのしかた

**お願い**

- ・点検、お手入れの際は、必ず電源を切ってください。
- ・点検、お手入れの際は、必ず手袋などの保護具を着用してください。
- ・清掃時にシャッターブレードを拭くときは変形させないように注意してください。
- ・洗剤などを使用する場合は中性洗剤を使用してください。  
 ※ 使用方法は、洗剤メーカーの指示に従ってください。
- ・ほこりが多く付着すると、騒音・振動の原因となりますので2カ月に1度を目安に清掃してください。
- ・ご使用にならないときは元電源を切り、ギヤモーターに水や異物が浸入しないようシートなどで覆ってください。

### こんなときには・・・

現象	原因	処置方法
シャッターが動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤のブレーカーが切れている</li> <li>・過負荷保護装置がはたらいている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分電盤のブレーカーを入れてください</li> <li>・開閉を妨げる要因を取り除きしばらく待ってください(自動復帰します)</li> </ul>

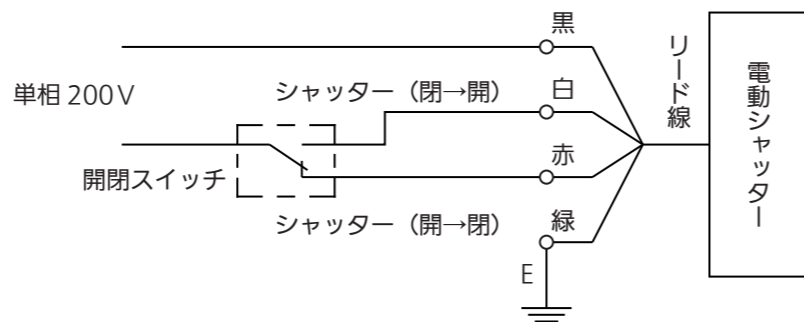
■ 過負荷保護装置について  
 この電動シャッターには過負荷保護装置がついています。ギヤモーターが異常過熱しますと、この保護装置がはたらきシャッターが開閉しません。

- ・過負荷保護装置がはたらいた状態で放置しますと、シャッターが途中で止まるなど異常動作となりますので、必ず電源を切ってから下記の項目に従って点検してください。
- ①周囲温度が異常に高くなっていませんか？
- ②シャッターに外力が加わっていませんか？

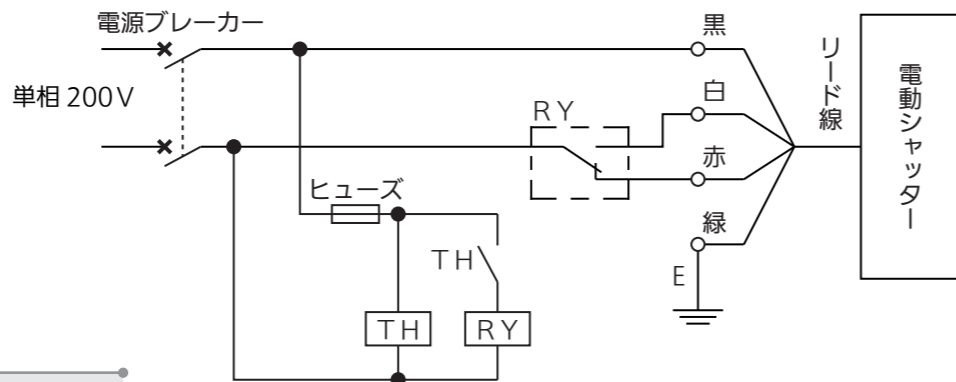
・原因を取り除いた後も、ギヤモーター内部の温度が下がるまで(停止後約30分間)はシャッターは開閉しません。

- ・本品はスイッチ、リレーなどを設けないと開閉しません。 ※これらの部品は付属していません。
- ・右図の結線例を参照してください。

開閉スイッチ	シャッター
黒-白間通電	閉→開
黒-赤間通電	開→閉



- 自動運転する場合
- ・右図のような回路を構成してください。



### お願い

- ・単相200V以外を印加しないようにしてください。3相200Vを印加した場合、シャッターは連続開閉し過電流により故障します。

### 工事店様へ

## 試運転

試運転の前に以下の項目について確認してください。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <b>■電気系統</b><br><input type="checkbox"/> 電線の接続は確実か？<br><input type="checkbox"/> 電線の固定は確実か？<br><input type="checkbox"/> 絶縁試験はおこなったか？<br><input type="checkbox"/> アース線の接続は確実か？ | <input type="checkbox"/> 電源電圧は規定通りか？<br>(単相 200V±20V)<br><input type="checkbox"/> 接地抵抗は基準値以内か？<br><input type="checkbox"/> 漏電ブレーカーは接続したか？ | <b>■強度その他</b><br><input type="checkbox"/> 本体の固定は確実か？<br><input type="checkbox"/> 据え付け場所の強度は十分か？<br><input type="checkbox"/> 部品は確実に取り付けられているか？<br><input type="checkbox"/> 設置方法に間違いはないか？ |
|--|---|---|

- 試運転
- ・開閉スイッチで黒-白間通電するとシャッターが開き、黒-赤間通電するとシャッターが閉まります。
  - ・異常がないことを確認してください。

### 工事店様へ

## 使い方

- ビニールの張り方 (ビニールハウスで使用する場合)
  - ①シャッターにシートを被せます。
  - ②シートをシャッターより約30mm内側で切り取ります。
  - ③ピネット部のソフトスプリングでシートを押さえます。(ソフトスプリングはお客様調達)
  - ④シャッターの開閉に支障がないようにはみ出した部分を切り落としてください。

## 警告

- 本体の電線に無理な力がかからないように配線する
    - 断線してショート・感電のおそれがあります。
  - 入力電源OFFを確認してから配線する
    - 感電・火災のおそれがあります。
  - 本体を据え付けてから配線する
    - 感電・火災・けがのおそれがあります。
  - 異常時、点検、お手入れの際は、電源を切る
    - 感電・火災・けがのおそれがあります。
  - 電線の接続は確実におこない、接続後は絶縁処理をする
    - 接続が不完全な場合は発熱し火災の原因となります。
  - 配線の固定は確実におこなう
    - 固定が不完全な場合は、ショート・感電・火災のおそれがあります。
  - 振動、シャッターが動作しない等の異常時には使用を中止する
    - 感電・火災のおそれがあります。
  - 使用を終了した製品は放置せず撤去する
    - 落下により、けがをすることがあります。
- 修理は販売店へご連絡ください。

## 注意

- 酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所には本製品を設置しない
  - ガスによる中毒や本製品の腐食、劣化が発生し、予期せぬ事故の原因となります。
- 施工時、点検時には、必ず手袋などの保護具を着用する
  - 板金などの切り口や、本体の突起角などでけがの原因となります。
- 重量物のため、十分注意して取り付ける
  - 落下により、けがをすることがあります。
- 本体がしっかりと取り付けられているか確認する
  - 落下によりけがをすることがあります。
- 単相200Vに接続する
  - 感電・火災の原因となります。
- 運転中は製品に近付かない
  - 予期せぬ事故の原因となります。
- 清掃時にシャッターブレードを拭くときは変形させないように注意する
  - 予期せぬ事故の原因となります。
- ギヤモーターに触らない
  - 高温になっているので、やけどをすることがあります。

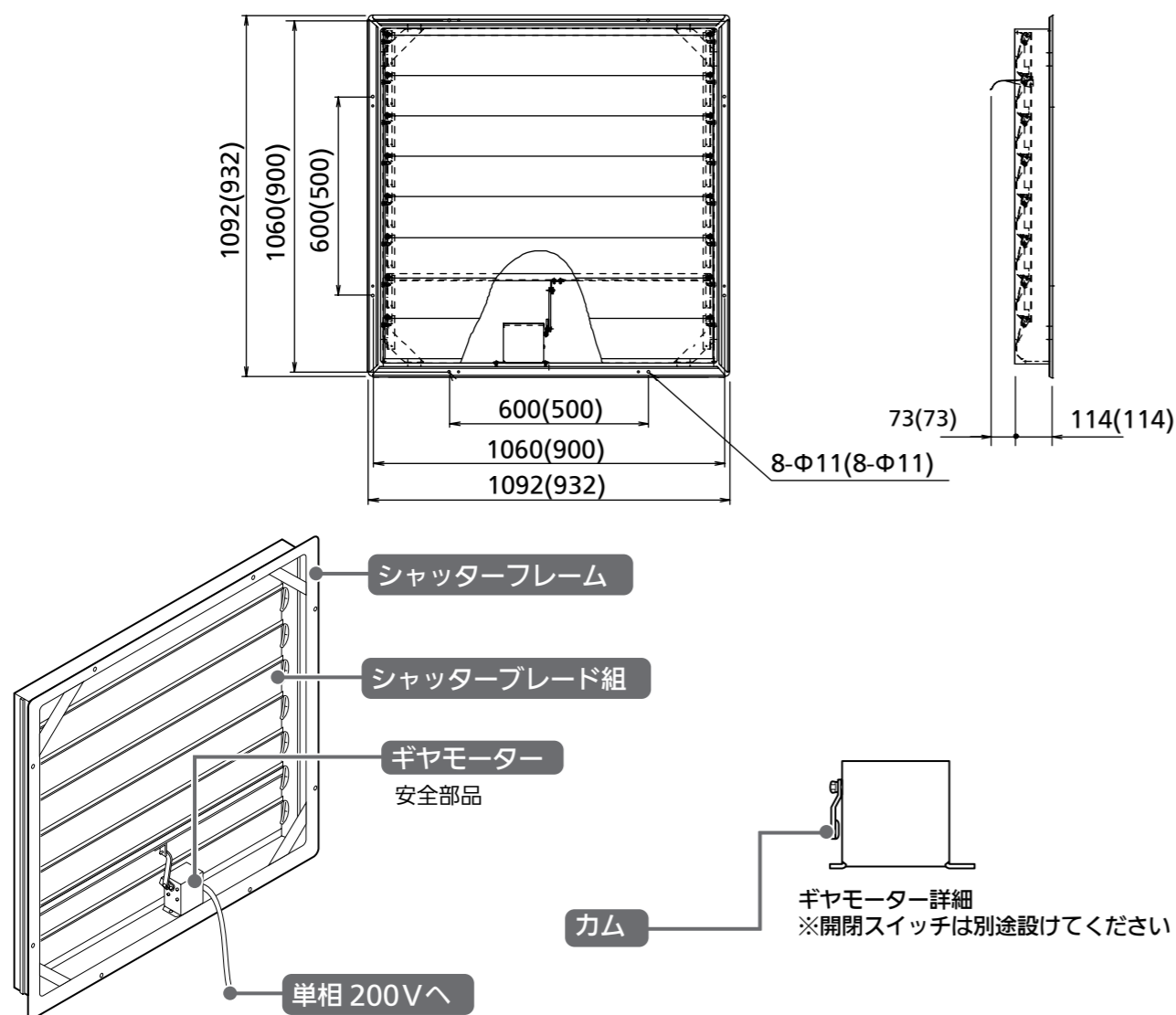
## お願い

- 壁面取付専用タイプですので、上向き、傾斜面などには取り付けない
- シャッターがはずまないように確実に取り付ける
- 寄りかかったり、もたれたりしない
- シャッターの前に物を置かない
- 氷結する場所に取り付けない

## 各部の名前と寸法

単位：mm

NK-NEA10, NK-NEA80  
(括弧内の寸法は、NK-NEA80)



## 据え付け場所の選定

お客様の同意を得て決定してください

**お願い** 以下の場所は避けてください。

- 極度に密閉された場所
- 腐食性の処理水およびガスの発生場所
- 常時振動したり、振動しやすい場所
- 薬剤などがかかる場所

## 設置上のお願い

- 本体を落下し、衝撃を与えないようにしてください。振動発生や故障の原因になります。
- 取り付け場所は、本体の質量に耐えられるよう、堅固な場所を選んでください。
- 本体を歪ませないようにしてください。

## 取り付け前の準備

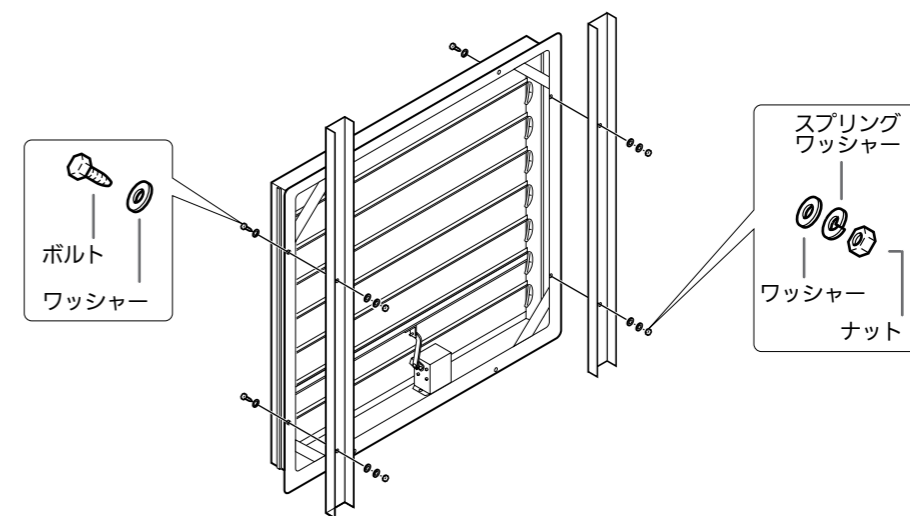
開梱時に以下の項目について確認してください。

- ・ 銘板に書いてある機種、電圧、周波数などが注文通りのものか。
  - ・ 輸送中の事故で破損または変形していないか。
- 現地で準備していただく部品 ※これらの部品は付属していません。

・ 漏電ブレーカー	1
・ 接続電線	1
・ M10 ボルト (推奨材質：ステンレス)	4
・ M10 ナット (推奨材質：ステンレス)	4
・ M10用 スプリングワッシャー (推奨材質：ステンレス)	4
・ M10用 ワッシャー (推奨材質：ステンレス)	8
・ 開閉スイッチ	1

## 取り付け

- 1 外形寸法図(「各部の名前と寸法」)に合わせて鉄骨または木枠を組む。  
※ 製品重量、経年劣化を考慮した鉄骨または木枠を使用してください。
- 2 電動シャッターの取り付け穴に合わせて取り付け側の枠に穴をあける。(4カ所)
- 3 電動シャッターを取り付ける。  
ギヤモーターを下にしてください。  
電動シャッター側からボルト、ワッシャーを通し、枠側からワッシャー、スプリングワッシャーの順でナットで固定する。(市販品)  
※ 製品重量、経年劣化を考慮したボルト類を使用し、確実・適切な締結をおこなってください。



## 電気工事

**お願い**

- ・ 配線工事は電気設備技術基準、内線規程及び工事説明に従ってください。
- ・ 電線はアース線を含めた4芯の屋外仕様キャブタイヤケーブルを使用し、2mm<sup>2</sup>(φ1.6mm)以上を使用してください。
- ・ 電線の接続は絶縁被覆付圧着スリーブを使用して確実におこない、接続後は絶縁処理をおこなってください。  
(例：絶縁被覆付圧着端子 JIS C 2805適合品)
- ・ アース工事はD種接地工事をおこなってください。
- ・ 漏電ブレーカーを必ず設置してください。